

2010年07月28日発行

創刊のご挨拶

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度の重点商材であるタイムレコーダーシステム「HandTime」と本人確認システム「HandProfile」は、手のひら静脈認証を基軸としたシステムです。指紋認証などの他の生体認証システムと比べ、指がふやけていたり、濡れている場合などの劣悪な条件下においても非常に高い識別率を実現します。

セキュリティの強化が求められる中、如何に簡単に手間無く正確に運用できるようにと考案したのがこの両製品です。現在は、タイムレコーダーと東京都の「インターネット端末利用営業の規制に関する条例」に対応した2機種のみですが、今後は他の分野に展開し、より多くの皆様のビジネスに貢献していきたいと考えております。

本メールマガジンは今後の製品リリースの情報をいち早く皆様にお届けしたく、発行させていただきました。1か月から2か月に1回の発行になりますが、宜しければお付き合いいただきたく、宜しく願いいたします。
また、お気づきの点や、ご不明な点等ございましたら、なんなりとお申し付けいただければ幸いです。

それでは、引き続きご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成22年7月28日
株式会社日本セパレートシステム
代表取締役 杉村 英人

◆ INDEX ◆

[News & Topics]

- ・ 7月21日報道発表
日本セパレートシステム、東京都の本人確認条例に対応した
手のひら静脈認証による本人確認システム
「HandProfile」を発売開始
～インターネットカフェを対象にした会員証レスの会員管理を実現～

[Webサイト更新]

- ・ ロジスティクス・SCM+流通フェア セミナー・レポート公開 (7月9日)
- ・ 手のひら静脈認証タイムレコーダーシステム「HandTime」ページ
リニューアル (7月21日)
- ・ 東京都条例対応本人確認ソリューション「HandProfile」ページ公開
(7月21日)

[コラム SEPA]

第一回：東京都の「インターネット端末利用営業の規制に関する条例」
ページ(1)

—◇ News & Topics ◇—<Sepa-Logi>—

◆7月21日報道発表

日本セパレートシステム、東京都の本人確認条例に対応した
手のひら静脈認証による本人確認システム
「HandProfile」を発売開始
～インターネットカフェを対象にした会員証レスの会員管理を実現～

<報道発表原文>

<http://www.sepa-system.co.jp/pressrelease/pr20100721.html>

<解説>

今月施行された東京都の本人確認条例対応のパッケージシステムとしては国内初になります。お陰さまでキーマンズネットや日刊工業新聞をはじめとする主要メディアに掲載いただくことができました。これも手のひら静脈認証や東京都本人確認条例の注目度の高さであると考えています。なお、条例自体はインターネットカフェを対象に施行していますが、HandProfile自体は簡単なカスタマイズで、他の業態にも会員証レスの会員管理システムとしてご提案が可能です。是非、カスタマイズのご要望等、お気軽にお申し付けください。また、実機を用いたデモも実施できます。併せてご検討ください。（島村 千春）

※キーマンズネットの掲載記事は下記をご覧ください。

<http://www.keyman.or.jp/3w/prd/46/20030646/>

—◇ Webサイト更新 ◇—<Sepa-Logi>—

下記のページを更新しています。

◆ロジスティクス・SCM+流通フェア セミナー・レポート公開（7月9日）

<http://www.sepa-system.co.jp/eve01.html>

◆手のひら静脈認証タイムレコーダーシステム「HandTime」ページ

リニューアル（7月21日）

<http://www.sepa-system.co.jp/package/handtime.html>

◆東京都条例対応本人確認ソリューション「HandProfile」ページ公開

（7月21日）

<http://www.sepa-system.co.jp/package/handprofile.html>

—◇ コラム SEPA ◇—<Sepa-Logi>—

第一回：東京都の「インターネット端末利用営業の規制に関する条例」

+.....+

今回発表させていただきました「HandProfile」が対応した標記条例について
簡単にご紹介させていただきます。

東京都の「インターネット端末利用営業の規制に関する条例」は通称で「インターネットカフェ条例」や「本人確認条例」と呼ばれています。この条例は一部のスポーツ紙で「難民がまた難民に！」というタイトルでも報じられており、悪質なインターネット利用を規制するための本人確認（身分証明書の提示）が義務付けられた条例です。

これにより、今まで身分証明書を提示することができない方々（スポーツ紙でいう「難民」）はさらに行く場所がなくなり困るだろうし、倒産するインターネットカフェも出てくるだろうとの推論も記事になっていました。

本人確認の手間が条例により発生するため、インターネットカフェのサービスレベルを維持するべく、本人確認の手間を利用者側とお店側の両面で軽減できる「HandProfile」をリリースした次第です。

さて、東京都としては今回の条例施行に踏み切った背景は、不正アクセスによる顧客データの不正入手、他人を誹謗中傷する書き込み等のハイテク犯罪が後を絶たず、また、ハイテク犯罪以外の犯罪や青少年の健全育成を害する多くの事案も発生しているため施行されたようです。

やはり、責任を伴わない自由は自由ではないということでしょうか？
自分を隠して無責任に発言・行為ができる場所は良い結果にはならないと改めて思いました

なお、同条例の詳細は警視庁のWebサイトから閲覧できます。
http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/seian/in_cafe/in_cafe_jorei.htm

条例原文やAKB48による「インターネット端末利用営業の規制に関する条例」のキャンペーンイベントの動画も閲覧できますので、宜しければご覧ください。

(マーケティング・アドバイザー 吉政 忠志)

編 | 集 | 後 | 記 |

最後までお読み頂きありがとうございました。

本人確認システム『HandProfile』はお客様のご要望から生まれました。
今後も、皆様と密な関係を築きビジネスチャンスを増やして行きたいと思っております。Sepa-Logiではビジネスに結び付くHOTな情報を発信していきますので、情報収集の1つとしてご購入いただければ幸いです。

(島村 千春)

—◇読者の皆様へ◇—

本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

—◇本メールマガジンの登録解除方法◇—

このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法

このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：

- (1) メールアドレス：
- (2) 氏名：
- (3) 会社名：
- (4) 部署名：
- (5) 役職名：

日本セパレートシステム・メルマガ「Sepa-Logi」

発行人：株式会社日本セパレートシステム エンジニアリング事業部
業務推進室 チーフマネージャー 高橋 亮人

編集人：株式会社日本セパレートシステム エンジニアリング事業部
業務推進室 島村 千春

sepa-logi
(C) 2010 NIPPON SEPARATE SYSTEM CO., LTD All rights reserved.